



青小スローガン

校長 木内 絵美

5月14日(木)の中休みに、第1回代表委員会が開かれました。代表委員会には、5・6年生による各委員会の委員長と4年生以上の各クラス代表2名、そして計画委員会のメンバーが参加します。1年生から3年生は参加しませんが、クラスで話し合った意見は代表委員会に集まってくる仕組みになっています。

第1回代表委員会の議題は計画委員会から提案されたもので、「青小スローガンを決めよう」でした。計画委員会は、あらかじめ「みんなが一つになるイメージのスローガンにしたい」「みんなが覚えやすく55周年にちなんだスローガンにしたい」という思いをもって、3つの候補を提案していました。

候補①「みんなで一つに協力して 明るい未来へ GoGo!」

候補②「みんなで一緒に GoGo! 協力して輝く夜空を作りあげよう」

候補③「GoGo! みんな一つに 作ろう青小レインボー」

代表委員会当日は、クラスの思いを背負った代表の子どもたちが、なぜその候補を選んだのか、理由を付けて意見を伝え合う姿が見られました。

- ・全学年が明るい未来に行ってほしいから。
- ・星一つひとつが、みんなを表しているイメージがいい。
- ・「かがやく」の言葉がいい。
- ・おぼえやすく「青小」という言葉が入っているのがいい。
- ・このスローガンなら、みんな同じ気持ちでまとまれそうだから。
- ・一人ひとりが色をもって虹ができる、個性があっていい。

選ぶ候補はそれぞれ違っていても、みんなが一つになるイメージで、覚えやすく、55周年にちなんだスローガンを選びたいという願いは同じでした。

活発な意見交換がなされる中、なかなか一つに決まらないまま、中休みの終わりのチャイムが鳴ったとき、6年生から『候補のいいところを足して一つにできないかな。』

「GoGo! 明るい未来へ 協力して作ろう青小レインボー」はどう?』という意見が出ました。それぞれのよさを生かしながら、一つの新しいスローガンが出来たとき、子どもたちからは自然と拍手が上がりました。

決まったスローガンは、掲示するだけの飾りの言葉ではありません。毎日の学習や友達とのかかわりの中で、「今の自分たちの姿はスローガンに近づいているかな」と立ち止まって考える、そんな合図になる言葉です。時々振り返りながら、教職員と子どもたちとで、55周年のスローガンを大切にしていきたいと思えます。